



主催大会等実施に係る感染症防止ガイドライン (R4.4改訂版) 第5版



黙食
にご協力ください



令和4年4月

神奈川県高等学校体育連盟
バレーボール専門部【オミクロン株版】

代替大会を含めた各種大会等実施に係る新型コロナウイルス感染症防止ガイドライン

令和3年10月
神奈川県高等学校体育連盟

1 はじめに

本ガイドラインは、(公財)日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づき、神奈川県教育委員会保健体育課の指導の下、神奈川県高等学校体育連盟が実施する代替大会や今後の主催大会・各種事業等を再開するにあたっての基準や、感染予防のための留意点、生徒等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の対応等をまとめたものです。作成にあたっては専門家(医療関係者)にもご意見をいただいております。

各専門部においては、本ガイドラインや中央競技団体等が作成する各競技別のガイドライン等に従って感染防止対策を徹底し、安全な大会運営に取り組むようお願いします。

なお、本ガイドラインは、新たな感染症対策の情報や、神奈川県の感染状況等により、適宜見直しを行うこととします。

2 県高体連主催事業再開に当たっての基本的な考え方

神奈川県のイベント開催や教育活動の方針に従うとともに、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、次の条件を満たしていることを開催の条件とします。

- ①学校教育活動が継続され大会参加に向けた部活動の練習が実施されていること。
- ②種目ごとに実施方法(試合形式・入場生徒制限等)を工夫し最大限感染リスクを下げること
- ③参加する生徒や保護者に基本的な考え方やリスクを周知し、理解を得ること
- ④大会参加については生徒や保護者の意向を尊重すること
- ⑤感染リスクへの対応が整わないと判断される場合は、中止又は延期すること
- ⑥本県が緊急事態宣言等の対象となった場合は、その内容を総合的に判断し、中止又は延期の検討を行うこと

3 大会開催時の感染防止策について

この内容は、あくまで包括的な事項であり、各大会や種目の特性等を勘案して、適宜、感染拡大防止のための必要な取組を盛り込むこととします。

(1) 全般的な事項

【会場運営役員及び専門部】

- ①感染防止のため各専門部が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所(大会の受付場所等)に掲示すること
- ②次の事項に該当する場合は、参加させないこと(大会当日に書面にて確認を行う)
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛等風邪の症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去10日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者
 - エ 過去7日以内に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と特定された者
 - オ 過去7日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合
 - カ 過去14日以内に政府から上陸拒否対象国に指定されている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(今後のオミクロン株における大会参加の可否について)

次の事項に該当する場合は、参加させないこととする。

(1) 罹患した生徒等

- ・発症日を0日として翌日から10日間（体調により延長もあり）
- ・無症状患者の場合は検査日から7日間。ただし、10日を経過するまでは、検温等の健康状態の確認を行うこと。（なお、検査時は無症状でも、療養中に症状が出現したら、発症日を0日としてカウントし直し10日間の療養とする。）

(2) 濃厚接触者

- ・患者の感染可能期間内^{*1}に患者と接触した最終日を0日として翌日から7日間^{*2}。ただし、10日を経過するまでは検温等の健康状態の確認を行うこと。
- ・同居する家族等の濃厚接触者とされた生徒等については、感染者の発症日又は感染対策を講じた日のいずれか遅い方から7日間。
- ・無症状の場合は、4日目、5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、5日目から解除することが可能。

※1 感染可能期間内：有症状の場合は発症日の2日前から、無症状の場合は検体採取日の2日前から、診断後に隔離開始されるまでの間

※2 令和4年1月28日一部改正厚生労働省通知「新型コロナウイルス感染症の感染急拡大が確認された場合の対応について」より

③感染症拡大防止の対策を徹底する（例：こまめな手洗い及び手指消毒ができる環境を整備する、定期的な共用場所の消毒及び共用物の消毒を実施する、他の参加者や役員との距離（できるだけ1メートル以上）を取れるよう工夫する等）

④各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること

【生徒・顧問・会場運営役員及び専門部】

⑤万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意しながら、当日の試合開始までに次のような対応を行う

- ・**生徒**は、事前に保護者の承諾と、健康状況を別紙1にて顧問に提出する
- ・**顧問**は、学校長の指示のもと、別紙2を作成し、当日の生徒及びチームスタッフ等の健康状況を把握した上で別紙2を、大会当日に受付等で会場運営役員及び専門部へ提出する

※別紙1を入場者全員は、引率責任者顧問に提出、検温後チーム全員で入場する。提出のない者の試合会場への入場は認めない。

※顧問及びチームスタッフ等も別紙1を作成し引率責任者に提出すること

- ・**会場運営役員及び専門部**は、参加役員一覧を作成し当日朝の時点で健康チェックを行う（別紙3） ※非接触型体温計等を活用
- ・**会場運営役員及び専門部**は、生徒・顧問・役員の体調を書面により確認し、提出された書面や大会当日の時程、待機場所、運営の詳細等を、保存期間（少なくとも30日以上）を定め保存する
- ・**顧問**は、大会当日の時程、出席生徒・顧問等の行動記録等を、保存期間（少なくとも30日以上）を定めて保存する

※別紙1「健康状況チェックシート及び参加確認書」※参加校が保管

（生徒・チームスタッフの健康状況を確認し生徒は保護者の承諾書を含めたもの）

別紙2「参加校状況報告書」※専門部が保管

（引率責任者顧問名で参加する生徒と顧問等の状況を把握した報告書）

別紙3「大会役員健康状況チェックシート」※専門部が保管

(チームスタッフ以外の役員等の当日の健康状況を把握した一覧)

- ⑥大会に参加する全ての者(生徒・顧問・役員等会場内に入る者)は、競技中以外はマスクを着用する
- ⑦新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応は別紙4参照のこと

(2) 大会申込時の申合せ事項

- ①生徒・顧問・役員等が次の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること
 - ア 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去10日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者
 - エ 過去7日以内に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と特定された者
 - オ 過去7日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合
 - カ 過去14日以内に政府から上陸拒否対象国に指定されている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ②マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する)。
 - ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
 - ④他の参加者や役員等との距離(できるだけ1m以上、競技の特殊性や施設などの事情で困難な場合も少なくとも1m)を確保すること
 - ⑤大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
 - ⑥感染防止のために決めた措置を遵守し、指示に従うこと
 - ⑦新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応 別紙4参照
 - ⑧更衣室や食事場所等での三密は避けること
 - ⑨昼食を取らない大会運営に心がけるとともに、とらざる得ない場合は「黙食」の徹底を図ること
 - ⑩集団での移動の際は三密を避けること
 - ⑪原則無観客で開催すること
- ※保護者等学校関係の入場を可とする場合は、感染状況や会場環境等の条件を考慮して十分な感染対策を施すとともに、参加者への周知徹底を図ること

(3) 大会会場で準備すべき事項

- ①手洗い場所
 - ア 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意すること
 - イ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
 - ウ 参加者には、手洗い後に手を拭くためのタオルを各自用意させること
 - エ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
 - ②更衣室、休憩・待機スペース
 - ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
 - イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
 - ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については、こまめに消毒すること
 - エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- ※更衣室とは別に飲食場所を用意すること。
- ※ドアノブなどへの接触回数を減らすために支障のない戸は常に開放しておくこと

③洗面所

- ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- イ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- ウ 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- エ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- オ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを各自用意させること

④飲食

- ア 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- イ 飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避けること
 - ※ （飲食は更衣室などせず飲食指定場所ですること。その際向かい合わず、黙食に心がけること）
- ウ 大会中の飲食は必要最低限にとどめ、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- エ 生徒の飲食は、参加校の責任において喫食させ、ゴミはすべて持ち帰らせること
- オ 飲料のペットボトル等の共用は厳に慎むこと

⑤会場

- ア 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- イ 換気設備を適切に運転すること
- ウ 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- エ 原則無観客で実施すること
- オ 怪我人の処置室とは別に体調不良者用の待機場所を設置すること
 - ※ 可能な限りカーテンは開放して行うようにする。また、試合間には必ずカーテン、窓を開け換気を徹底すること
 - ※ 得点板、モップ、その他備品類のこまめな消毒など衛生対応を徹底すること
 - ※ 立ち入り禁止場所を明確にすること（大会終了後の消毒等を徹底するため）

⑥ゴミの廃棄

- ア 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用すること
- イ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒すること、ゴミはすべて持ち帰らせること
 - ※ ゴミは必ず各自で持ち帰ること（ゴミ箱の設置はしない）
 - ※ 定期的な換気に加え、夏季など気温の高い時期は空調の活用及び扇風機の併用など熱中症のリスクにも備えること。冬季など気温の低い時期でも窓は常時10cm以上開け、試合間は必ず窓を開け換気を徹底すること

（4）大会当日の受付時の留意事項

- ①受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- ③人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテン、フェイスシールドなどで遮蔽すること
- ④受付を行うスタッフには、マスクを着用させること

(5) 大会参加者への対応

①体調の確認

顧問から生徒と顧問等について次の事項を記載した書面の提出を求めること

ア 生徒と顧問等については、学校長の指示のもと、大会参加2週間前から各学校で健康チェック等に活用している「健康観察票」等と生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書（別紙1）で健康状況を把握し、大会当日に受付等で非接触型体温計等を活用し健康状況を報告すること（別紙2）

また、大会当日の時程、出席生徒の行動記録や住所、連絡先（電話番号）については、各校で把握し、感染が判明した時点で速やかに連絡できる体制を整えておくこと

イ 大会当日の非接触型体温計等を活用した体温確認（受付時の3密を回避するため自宅での検温も可とする）

ウ 大会前10日における次の事項の有無（次の症状が数日間継続した時は、医療機関を受診すること。）

- ・平熱を超える発熱（おおむね37.5度以上）
- ・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ・だるさ・疲れやすい（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常

エ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

オ 過去10日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者

カ 過去7日以内に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と特定された者

キ 過去7日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合

ク 過去14日以内に政府から上陸拒否対象国に指定されている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスク等の準備

ア 参加者がマスクを準備しているか確認すること

イ 参加の受付、着替え、ミーティング、開会式、閉会式、表彰式等の運動を行っていない間については、マスクの着用を求めること

③大会参加前後の留意事項

ア 大会の前後のミーティング等においても、3つの密を避けること

イ 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

(6) 競技上の留意点

①十分な距離の確保

ア 競技の種類に関わらず、運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること

イ 強度が高い競技の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること

ウ 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をすることがあること（感染予防の観点から、できるだけ2m以上、少なくとも1～2mの距離を空けることが適当である）

②運動中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと

③タオルやペットボトル等の共用はしないこと

④飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと

⑤競技特性による感染防止については、各専門部の指示に従うこと

※試合前後の握手はエンドラインでの一礼で代替すること

※開閉会式、表彰式は簡易化すること

※ベンチは通常より間隔を開け3席のみとし、アップゾーンを広めに取り密を避けること

※ベンチはチェンジコート及び試合終了後に当該チームで消毒を行い次のチームに受け渡すこと（消毒用アルコールは各校で用意すること）

※審判員の笛の管理に注意すること。必要に応じてはホイッスルカバーを使用すること。（不慮の接触を避ける。また電子ホイッスルも可とする）

※試合球は複数個用意し、こまめに消毒を行い交換しながら使用すること（現在のところ、ボールに適用可能となる完璧な消毒方法は判明していないため、ボールに触れた手で顔（特に眼、鼻、口）を触らないように努めることを注意喚起する。また練習、試合終了後に手洗いをを行うように周知する）

（7）生徒が遵守すべき事項

①次の事項に該当する場合は、顧問が責任をもって参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）

ア 試合当日の体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去10日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者

エ 過去7日以内に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と特定された者

オ 過去7日以内にクラスター発生施設への滞在歴がある場合

カ 過去14日以内に政府から上陸拒否対象国に指定されている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②マスクを持参すること

（参加受付時、着替え時、ミーティング、開会式、閉会式、表彰式等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）

③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

④他の参加者、主催者スタッフ等との距離はマスクをしていても（できるだけ1m以上、少なくとも1m）を確保すること

⑤大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと

⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

⑦大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

⑧大会の前後のミーティングにおいても、3つの密を避けること

⑨更衣室や食事場所等での三密は避けること

⑩昼食を取らない大会運営に心がけるとともに、とらざる得ない場合は「黙食」の徹底を図ること

⑪集団での移動の際は三密を避けること

※手洗い後に手を拭くためにマイタオルを持参すること。

※競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめること。

※更衣室の滞在時間を短くするために、練習のできる服装での来場を推奨する。

※ライズマンフラッグ、筆記用具は参加各校で用意し各校で消毒すること。

※タオル、給水ボトル、アイシングパックなどの共用は禁止する。

（8）大会参加者の感染が判明した場合の対応

①大会前

ア 当該部員、顧問、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない

イ 団体競技においては、参加申込後の生徒変更を認める

ウ 個人競技においては、欠場とする

②大会期間中

- ア 大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、当該生徒を安全に帰宅させる
- イ 安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う

③大会後

- ア 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従うこと
- イ 当該専門部は、感染者の所属する学校や行政機関等からの情報をもとに、「感染の可能性のある期間」を鑑み、県または地区高体連事務局と協議後、感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての者に連絡をすること 別紙4参照
- ウ 当該の専門部は、速やかに事故報告書を作成し提出すること

(9) その他

- ①会場への移動等は各学校で責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避けること
- ②今後、社会情勢が大きく変化し、通常 of 社会生活に戻るなどした場合の対応は、上記の限りではない
- ③（3）～（8）については、各専門部が競技特性に応じて、追加・加筆すること
- ④ガイドラインは県高体連事務局のホームページに掲載しています。必要に応じてダウンロードいただき、ご活用ください。

県高体連ホームページアドレス：<http://www.kanagawa-kotairen.gr.jp>

健康状況チェックシート及び参加確認書（生徒・保護者・顧問）

神奈川県バレーボール専門部版

このチェックシートは神奈川県高等学校体育連盟（以下、高体連という。）が開催する代替大会や各種大会、各種事業等において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報については、参加校が、適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。

また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

◎ 基本情報

フリガナ 氏名	年齢（ ）	学校名 (所属)
住所	電話番号（緊急連絡先）	
参加当日の体温	<input type="text"/>	<input type="text"/>
日 日（ ）	度	分

◎ 大会前 10 日前から当日の朝までにおける健康状態

※該当するものに「✓」を記入してください。

ア	平熱を超える発熱（おおむね 37.5 度以上）がない。	オ	同居家族等に感染が疑われる方がいない。
イ	咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状がない。	カ	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。
ウ	だるさ、疲れやすい（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない。	キ	政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。
エ	嗅覚や味覚の異常がない。		

保護者 確認欄

保護者氏名

印

※ 本健康チェックシートは、参加校が少なくとも 30 日以上保管し、期日経過後は各学校において、責任を持って適切に廃棄処分する。

令和 年 月 日

バレーボール専門部長 様

参加状況報告書

「健康状況チェックシート及び参加確認書（別紙1）」の結果、参加生徒の健康状況は良好であるため、次の大会・事業等に参加いたします。

また、参加顧問等の健康状況も良好であることを確認しました。

参加大会名（事業名） _____

開催日 _____ 月 _____ 日 () _____

参加生徒数 _____ 名

チームスタッフ数(含保護者) _____ 名

以上報告いたします。

学校名 _____

顧問名(自署) _____

新型コロナウイルス感染症を罹患及び罹患の疑いがある場合の対応例

1 大会前の各学校における対応

学校に登校している生徒のみ参加可

【大会に参加する部活動の生徒が罹患した場合】

- ・校長は試合参加の辞退を専門委員長に連絡し、専門委員長は高体連事務局に報告する。

【大会に参加する部活動の生徒が濃厚接触者となった場合】

- ・校長は、当該生徒等に対して「感染者と最後に濃厚接触をした日の翌日から起算して7日間の出席停止」の措置をとる。

※無症状の場合は、4日目、5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は、5日目から解除することが可能。

- ・それ以外の指導者、部員で試合参加可。

【学校で罹患者が出た場合】

- ① 校内で感染が広がり学校全体が臨時休業となっている場合、原則として大会への参加は認めない。
- ② 学年内で感染が広がり学年閉鎖となっている場合、原則として当該学年に所属する生徒の参加は認めない。

※この基準は目安であり、最終的には当該校の校長が学校医や保健所等からの指導・助言をもとに、専門部及び教育委員会と協議を行い大会参加の可否を決定する。

2 大会当日の各会場における対応

(発熱等の風邪症状、息苦しさ、強いだるさ等の症状がある場合)

- ・顧問は当該生徒を安全に帰宅させ、症状がなくなるまでは自宅休養するよう指導する。
- ・顧問は会場運営役員及び専門部に報告するとともに、自校管理職へ報告し対応の指示を受ける。
- ・会場運営役員及び専門部は安全に帰宅できるまでの間、会場にとどまるケースを想定し、他の者と接触を避けられるよう、別室で待機させるなどの配慮を行う。
- ・顧問及び管理職は居住する自治体の定めにしたがって、「帰国者・接触者相談センター」や保健所等に相談するよう家庭に連絡し、経過について学校及び会場責任者に継続的に連絡させる。
- ・会場運営役員及び専門部は、専門委員長に報告し、専門委員長は高体連事務局に報告する。

3 生徒が大会終了後10日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の対応

(1) 各学校の対応

- ・学校は保健所と連携し、当該生徒の情報収集、濃厚接触者の特定、他の生徒等及び教職員の健康状態を把握する。
- ・会場運営役員及び専門部は、保存している、大会当日の日程、待機場所、運営の詳細等を学校及び保健所に情報提供する。
- ・顧問は、保存している、大会当日の日程、出席生徒の行動記録等を学校及び保健所に情報提供する。
- ・校長は速やかに専門委員長へ連絡し、専門委員長は会場運営役員と状況確認をした後、高体連事務局に報告する。

(2) 専門部の対応

感染者が発生した学校の顧問並びに校長からの情報に基づき状況を把握し、県高体連事務局等と協議後、感染者が参加した大会当日に会場にいたすべての者に連絡する。

※感染者の感染可能期間は、発症2日前（無症状者の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前）となっていることから、文書通知の期間は、発症日（発熱等の症状が現れた日）から2日前に大会があった場合とする。

4 濃厚接触者となった場合の対応

・濃厚接触者は「感染者と最後に濃厚接触をした日から7日間の出席停止」の措置をとる。

※無症状の場合は、4日目、5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性が確認された場合は、5日目から解除することが可能。

※濃厚接触者の特定については、学校が濃厚接触者のリストを作成し、保健所に送付することによって追認される。

⇒濃厚接触者は自宅待機とし、それ以外の指導者、部員で試合参加可。

参考：濃厚接触者の定義【神奈川県ホームページ】

陽性者（無症状者も含む）の※感染可能期間に以下の接触があった者

- 陽性者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内を含む）があった者
- 適切な防護なしに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者
- 陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接接触した可能性が高い者
- 手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防対策なしで陽性者と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から陽性者の感染性を総合的に判断する）

※感染可能期間

- 症状がある場合・・・発症日2日前から診断後に隔離などが適用されるまでの期間
- 症状がない場合・・・判明日2日前から診断後に隔離などが適用されるまでの期間